

三菱財団社会福祉事業並びに研究助成応募要領

1. 助成の対象

①事業・研究の内容

イ. 現行制度上、公の援助を受け難い、開拓的ないし実験的な社会福祉を目的とする民間の事業（原則として法人に限る）。

ロ. 開拓的ないし実験的な社会福祉に関する科学的調査研究（個人・法人いずれも可）。

〈注〉 1 ここでの“開拓・実験性”とは、新たな視点に基づき展開される社会的意義のある事業ないし研究で、類似例への適用や普遍化の可能性につながるもの、等を想定しています。

内容上は特に具体性のあるものに限定されますが、福祉現場における、“地域性、個別性”の高い活動あるいは“実践的、草の根的”活動に基づくものも、具体的な成果が期待でき、他の地域等への発展・普及の可能性のあるものも、充分評価されます。

2 外部委託が著しく、研究者・事業者の主体性が損なわれるような研究・事業は、助成対象となりません。

3 “調査”については、倫理、個人情報保護等の法規定や精神を十分に踏まえたものであることの説明が必要です。

ハ. 本財団では、関係当事者がプロジェクトチームを形成し、同一の社会課題に対し、より多角的に、ダイナミックに挑戦する提案型の応募も期待します。この場合、助成金額、期間等については、より柔軟に対応します。今回が初回のため、電話、メールのほか事前相談（予約制）もお受けいたします。（なお、募集期間中はご相談に応じられない場合もありますので、ご了承下さい。）

1 研究・事業活動連携型プロジェクト

一つの社会課題に対し、研究者と事業者／活動者が各々の役割分担を明確にし、各々が有するノウハウ、経験を結集することで、より有効で具体性のある解決策を求めるもの。いわば研究と実践の壁を取り払い、一気通貫で課題解決の糸口を探る取り組み。

2 複数領域協働型プロジェクト

一つの社会課題解決のために、複数の領域の専門家がチームを組み、課題を多面的に捉えることで、一研究者では成し得ない奥行き感のある成果を期待するもの。また、事業者の場合、種々の枠組みにチャレンジし、よりダイナミックなアプローチを可能とするチーム形成もあるかと考えます。既成概念を破るチャレンジに期待します。

②申込者の資格一般

イ. 日本国内において事業ないし研究の継続的拠点を有するもの（国籍等は不問）。

ロ. 営利目的の企業等並びにその関係者は対象外。

- ハ. 代表研究者及び協同研究者は、本財団の同一年度の助成に複数応募することは出来ません。従って、代表研究者が（他分野も含め）他の応募案件の協同研究者を兼務したり、協同研究者が他の応募案件の協同研究者を兼務することも出来ません。
なお、複数応募が判明した場合は、応募を取り下げてください。

2. 助成の概要

①助成金額

総額約 8 千 200 万円を予定。1 件宛の金額は特に定めない。

②助成金使途

「開拓的・実験的事業ないし研究」を基軸とした下記資金。

- イ. 調査研究費
- ロ. 施設費（建設、設備）
- ハ. 施設以外の経費（職員研修費等を含む）

従って、単なる施設建設、設備・機器購入等のみを目的とした申込は対象外。

実施担当者・関係スタッフ・協同研究者については代表研究者・代表者と同様、謝金の支払い認められませんが、旅費等の支払いは可能となります。（事業への協力者、研究補助者等への謝金は認められますが、旅費等の支払いは認められません）

なお、代表研究者・代表者に、助成金使用に係わるすべての管理責任を持って頂きます。

また、研究の実施者が所属する組織の間接経費・一般管理費等も助成の対象外となりますのでご留意下さい。

③助成期間

助成決定から 1 年を原則としますが、事情により 2 年間にわたる使用も認められます。

（2 ヶ年度分の助成申込を一括査定し、助成金は 2 ヶ年で使用されることとなります。）

④選考協力等

所定の申込書、資料に加え、更に詳しい書類等の提出をお願いしたり、面接、現地訪問等させて頂く事があります。また、面接等の際に修正意見等を申し上げることがありますので、お含みおき下さい。

⑤助成決定時の義務・条件

イ. 選考の結果、助成対象者となられた場合は、財団所定の「助成承諾書」を別途提出頂き、これにより事業・研究の経過あるいは完了報告、収支会計報告、その他使途変更事前相談手続等の義務を負って頂く事になります。

ロ. 事業・研究の経過・完了報告については、その一般公開についての同意をお願い致します。

ハ. 助成金贈呈式を平成 29 年 9 月に予定しています。贈呈式には助成金受領者ご本人にご出席頂くこととなります。やむを得ぬ場合は代理出席を認めるケースもあります。

3. 選考方法・結果通知等

①選考方法

財団委嘱の下記委員からなる選考委員会において慎重審議の上、その答申案に基づき、平成29年6月開催予定の財団理事会において正式決定されます。

(選考委員)

| | |
|-------------|------------|
| 水田 邦雄 (委員長) | 佐藤 敏信 |
| 早瀬 昇 | 中村 耕三 |
| 和気 純子 | 福岡 寿 (敬称略) |

(専門委員)

助成申込の内容によっては適宜専門委員を委嘱します。

②結果通知等

イ. 結果は決定後直ちに申込者各位宛に書面で通知されます。なお「助成先一覧」は、本財団インターネットホームページ上に掲載するほか各種福祉関係広報資料(福祉新聞・社協ニュース等)にも掲載を依頼致します。

ロ. 採否の理由についてのご照会には回答いたしかねますのでご了承下さい。

4. 応募期間

平成28年12月16日(金)～平成29年1月13日(金) 午後5時

*期間内に必着のこと

*応募書類を三菱財団事務局へ直接お持込みになることはご遠慮下さい。

5. 応募方法

① 「助成申込書」の作成

応募にあたっては、本財団インターネットホームページ上で作成した「助成申込書」を印刷し、代表研究者印もしくは代表者印(公印、法人・団体の場合)を押印の上、別途下記②で作成する「助成申込内容」と共に送付して下さい。

[ホームページアドレス]

<http://www.mitsubishi-zaidan.jp>

なお、インターネットホームページ上で「助成申込書」を作成しただけでは助成の申し込みにはなりませんので、ご注意ください。

応募には、下記②「助成申込内容」の作成及び「助成申込書」「助成申込内容」双方の送付が必須となります。

また、「ご応募の際によくある質問と回答」をインターネットホームページ上の「応募Q&A」に掲載していますので、ご参照下さい。

<「助成申込書」作成の手順>

- イ. 本財団インターネットホームページ上の「助成について」より「社会福祉事業・研究助成」を選択し「社会福祉事業・研究助成申込書、助成申込内容」をクリックします。
- ロ. Step1.にある「マイページを取得する」ボタンをクリックすると、メールアドレスの登録画面が表示されますので、応募される方のメールアドレスを入力するとともに、助成金種類欄から「社会福祉事業・研究助成」を選び、登録します。
- ハ. 登録されたメールアドレスにマイページ登録用の URL がメールで届きますので、その URL にアクセスします。
- ニ. パスワード設定画面が表示されますのでパスワードを入力、併せてパスワードを忘れた場合の秘密の質問・回答を登録します。
- ホ. ログイン ID が自動発行され画面に表示されると共にメールにも届きますので、発行された ID とパスワードを使い、マイページにログインします。
- ヘ. 基本情報の「編集」ボタンをクリックし、入力画面に進みます。
「申込者」「申込内容」「協同研究者」「連絡責任者」、「当財団助成実績」（過去に当財団の助成金を受領された方のみ）の各項目を入力し、確認画面で入力内容のエラーチェックをした後、保存します。
- ト. 入力内容が確定したら「基本情報 Web 入力完了」ボタンを押します。
(注)「基本情報 Web 入力完了」ボタンを押すと、入力内容の変更はできなくなりますのでご注意ください。
- チ. 「助成申込書」(PDF) を表示・印刷し、代表研究者印を押印の上、下記②で作成する「助成申込内容」に表紙として付け、申込書一式正本（5. ③ ロ.）として下さい。
(注) 出力した「助成申込書」(PDF) には、変更を加えないで下さい。内容の変更が必要な場合は、本要領 7 ページ記載の本財団事務局までご連絡下さい。

なお、Web 操作に関するお問い合わせは、下記までお願いします。

Tel. 東京 (03) 3626-1307 (平日 午前 9 時～午後 5 時)

E-mail. mitsubishi-zaidan@yoshida-p.co.jp

(ヨシダ印刷株式会社 三菱財団サポート担当)

<「助成申込書」作成上のご留意点>

- イ. お申込の分野を、次の 19 項目 (A～S) の中から 3 つ以内で選び、「助成申込書」の該当番号欄へ入力して下さい。

| | | |
|-------------------|-----------|--------|
| A 乳児 | I 地域・在宅支援 | Q 環境福祉 |
| B 児童・青少年 | J 世代間交流 | R 自殺予防 |
| C 高齢者 | K 貧困・格差 | S その他 |
| D 身体障害 | L 差別・排除 | |
| E 知的障害 | M ジェンダー | |
| F 精神障害 | N アディクション | |
| G 発達障害 | O 国際協力 | |
| H 親子・家族 (含、母子・父子) | P 災害復旧・防災 | |

ロ. 申込者が法人・団体の場合、その法人・団体の活動内容につき、次の 18 項目 ((1)～(18)) の中から主要な該当項目を 5 つ以内で選び、「助成申込書」の該当番号欄へ入力して下さい。

- (1) 保健、医療又は福祉の増進を図る活動
- (2) 社会教育の推進を図る活動
- (3) まちづくりの推進を図る活動
- (4) 学術、文化、芸術又はスポーツの振興を図る活動
- (5) 環境の保全を図る活動
- (6) 災害救援活動
- (7) 地域安全活動
- (8) 人権の擁護又は平和の推進を図る活動
- (9) 国際協力の活動
- (10) 男女共同参画社会の形成の推進を図る活動
- (11) 子どもの健全育成を図る活動
- (12) 情報化社会の発展を図る活動
- (13) 科学技術の振興を図る活動
- (14) 経済活動の活性化を図る活動
- (15) 職業能力の開発又は雇用機会の拡充を支援する活動
- (16) 消費者の保護を図る活動
- (17) 前各号に掲げる活動を行う団体の運営又は活動に関する連絡、助言又は援助の活動
- (18) その他

②「助成申込内容」の作成

- イ. 「助成申込内容」の書式は、本財団インターネットホームページ上にて、“助成応募要領”と共に、12 月上旬以降、平成 29 年度分を掲載致しますので、これをご参照下さい。
- ロ. 「助成申込内容」の用紙は原則として、このインターネットホームページにて、Microsoft Word 書式、PDF 書式で示してあるものをダウンロードの上ご使用下さい。
- ハ. 文字数に制限がある項目以外に入力文字制限はありませんが、印刷時に表示されないことがあります。必ず印刷プレビューもしくは印刷物で確認して下さい。
なお、PDF 書式をご利用の場合、文字数が多くなると字が小さくなります。字があまり小さくならないよう文字数を調整の上、入力して下さい。

<「助成申込内容」記入上のご留意点>

- イ. 研究申込の場合、代表研究者が大学・研究所・法人等の組織に所属される場合は、当該組織の所属機関の「長」^(注)から本件研究助成申込についてのご承認印（職印）を「助成申込内容」の最終頁に押捺頂いた上、ご送付下さい。（なお、職印は公印としますが、個人印を公印として使用されている場合は個人印でも可とします）
なお、所属機関長の承諾欄に直接記入される場合は、黒インク又は黒ボールペンを使用し、楷書で明瞭に記入して下さい。

ロ. 他機関に所属する協同研究者の参加が必要な場合も、主要な協同研究者については、その協同研究者の所属機関の「長」の了承を得ておいて下さい。(後日、書面にて確認させて頂くことがあります)。

(注) 例えば、大学院研究科長、学部長、研究所長等、直属の所属機関長。

ハ. NPO 法人で、認定／仮認定を取っている場合は、その旨、「助成申込内容」2 ページの「申込者属性」の該当欄にご記入下さい。

また、外部機関の自己評価ツール^(注)による自己診断書のご提出の有無も、該当欄にチェックして下さい。

(注) 組織評価に関する自己評価ツール・信頼認証ツールのことで、組織の運営状況、ガバナンスの確実性を測定するツールであり

①エクセレント NPO をめざそう市民会議

②NPO 国際協力 NGO センター (JANIC)

③一般社団法人 社会的認証開発推進機構 (AAC)

等の団体が用意しているものです。

③申込書一式の提出と受付の確認

イ. 申込書一式(「助成申込書」「助成申込内容」及び付属資料)の提出は、送付によりません。FAX あるいはホームページ上での受付、E-mail での申込受付は致しません。

ロ. 申込書一式の送付(*印のものは必ず送付願います)

・*申込書一式正本(「助成申込書」(押印済)及び「助成申込内容」)・・・1部

・*申込書一式副本(上記申込書一式正本(押印済)のコピー)・・・7部
正本、副本ともに片面印刷(コピー)、左肩上で各ホチキスどめして下さい。

・*法人・団体申込の場合は、定款・寄附行為等、役員名簿、
資産負債の状況、活動状況がわかる案内書等・・・2部
なお、外部機関の自己評価ツールによる自己診断をされている場合は、評価結果2部を添付して下さい。

・研究者の方の場合は、主要発表論文、特に今回お申込の案件に関する論文(両面コピー可)3篇以内、各2部を同封して下さい。なお、当該資料は原則として返却致しません。

ハ. 応募申込には、本財団インターネットホームページ上で作成した「助成申込書」及び「助成申込内容」双方の送付が必須となりますので、ご注意下さい。

ニ. 本財団で申込書一式を受理しましたら、「助成申込書」に記載された連絡責任者にメールでご通知致します。応募期間の最終日以降1週間を過ぎても受理メールが届かない場合は、本財団事務局までご連絡下さい。

ホ. なお、Web 入力完了後に「助成申込書」に登録された基本情報の変更を希望される場合は、本財団事務局までご連絡下さい。

ヘ. ご提出頂いた申込書一式、添付資料等は返却いたしかねますので、あらかじめご了承下さい。

(注) 所属機関でまとめて送付される場合

- ①申込書類一式は、一名分ずつ封筒(表書きに申込者名明記)に入れた上で、取りまとめてお送り下さい。
- ②所属機関宛にも受付確認を希望される場合は、上記送付物の他に以下のものを同封して下さい。
 - ・ 82 円切手貼付の同所属機関宛住所・連絡先ご記入済みの返信用封筒
 - ・ 申込者氏名一覧表 (受付番号欄つき)

6. 個人情報取扱いについて

- ①個人情報は原則として利用目的の範囲内で、かつ業務遂行上必要な限度内で利用致します。
- ②法令等の定める場合を除き、事前に本人の同意を得ることなく個人情報を第三者に提供致しません。

7. 反社会的勢力からの応募について

反社会的勢力および反社会的勢力と関係すると認められる個人もしくは法人からの応募は受け付けられません。

【申込書類提出先・お問い合わせ先】

公益財団法人 三菱財団事務局
〒100-0005 東京都千代田区丸の内2丁目3番1号 (三菱商事ビル21階)
Tel. 東京 (03) 3214-5754
Fax. 東京 (03) 3215-7168
E-mail. info@mitsubishi-zaidan.jp

追記 参考資料として、本財団第45回以降(過去3年度)の助成先一覧を添付します。応募件数と同金額は以下の通りです。

平成26年度 221件 566百万円、27年度 267件 741百万円、28年度 187件 578百万円

以上

平成28年12月

公益財団法人 三菱財団

第45回（平成26年度）三菱財団社会福祉 事業・研究助成先一覧

| 番号 | 所在地 | 名 称 | 使 途 | 金 額 |
|----|-----|--|---|------------|
| 1 | 宮城県 | NPO法人World Open Heart 理事長 阿部 恭子 (アベ キョウコ) | 交通事故加害者の更生支援プログラムの構築に関する研究－加害者家族支援によるアプローチ | 3,000,000円 |
| 2 | 北海道 | 公益財団法人北海道精神保健推進協会 理事長 阿部 幸弘 (アベ ユキヒロ) | ピアサポーターと協働した精神科「社会的入院」患者に対するモチベーション・サポートの効果的な実践の研究 | 2,300,000円 |
| 3 | 東京都 | 昭和大学附属烏山病院 特別研究生 池田 朋広 (イケダ トモヒロ) | 「物質使用障害」と「その他の精神障害」を併存する者に対する認知行動療法プログラムの効果検証に関する研究、及びその普及事業 | 1,100,000円 |
| 4 | 東京都 | 特定非営利活動法人STAND 代表理事 伊藤 数子 (イトウ カズコ) | 障害者スポーツ振興に繋がるボランティア・エキスパート育成アカデミー開設のトライアル事業 | 2,400,000円 |
| 5 | 京都府 | 京都大学環境安全保健機構 准教授 石見 拓 (イシミ タカ) | 心肺蘇生の体系的普及に向けた心肺蘇生実施の障害・促進因子に関する質的研究と効果的プログラムの開発 | 2,400,000円 |
| 6 | 兵庫県 | 兵庫県立大学地域ケア開発研究所 教授 呉 小玉 (ウー ショウエイ) | 「外国人看護師－患者－日本人看護師間の関係形成のプロセス尺度」の開発 | 1,700,000円 |
| 7 | 愛知県 | 名古屋大学大学院医学系研究科 教授 太田 勝正 (オウタ カツマサ) | タイにおける地理情報システムを利用した地域保健活動支援システムの実証的研究 | 2,000,000円 |
| 8 | 東京都 | 社会福祉法人 日本国際社会事業団 理事長 大槻 弥栄子 (オツキ ヤエコ) | 日本が養子縁組斡旋法制定に向けて動き始めたことを受け、養子を送り出す（アジア）諸国の法整備状況の研究報告 | 2,300,000円 |
| 9 | 兵庫県 | 神戸学院大学 総合リハビリテーション学部 講師 大庭 潤平 (オハタ ジュンペイ) | 筋電義手を使用する子供とその保護者のサポートシステムモデルの構築に関する研究 | 1,000,000円 |
| 10 | 東京都 | 聖路加国際大学母性看護・助産学 准教授 片岡 弥恵子 (カタオカ ヤエコ) | 産科に携わる看護職を対象とした虐待予防のための教育プログラムの開発 | 1,500,000円 |
| 11 | 東京都 | 東京大学大学院医学系研究科 助教 川久保 友紀 (カクホウ ユキ) | 自閉症スペクトラム障害に対する包括的支援プログラムの効果検証 | 2,000,000円 |
| 12 | 宮城県 | 東北大学大学院医工学研究科 教授 川瀬 哲明 (カワセ テツアキ) | 人工内耳／補聴器装用者のための在宅聴覚訓練システムの開発 | 2,200,000円 |
| 13 | 熊本県 | 崇城大学工学部 助教 古賀 元也 (コガ モトヤ) | 車椅子ナビゲーション・システムの実用化に向けた一連の取り組み－「鳥の目モデル」と「虫の目モデル」の開発とワークショップによる有用性の検証－ | 2,500,000円 |

(代表研究者50音順、以下同じ。)

| 番号 | 所在地 | 名 称 | 使 途 | 金 額 |
|----|-----|---|--|------------|
| 14 | 兵庫県 | 神戸大学大学院保健学研究科 教授 齋藤 いずみ (サイウ イズミ) | 混合病棟における助産・医療双方の安全と看護の質を保証する、助産師と看護師の人員配置に関する研究 | 2,600,000円 |
| 15 | 千葉県 | 亀田医療大学看護学部 講師 佐久間 夕美子 (サクマ ユミコ) | 認知症グループホームにおける基礎看護技術の応用と看護・介護の協働支援に関する研究 | 1,000,000円 |
| 16 | 宮崎県 | 宮崎大学医学部 教授 白石 裕子 (シライ ユウコ) | 精神科訪問看護師による認知行動療法実践のための支援プログラムの開発 | 1,300,000円 |
| 17 | 福岡県 | 聖マリア学院大学看護学部 准教授 白水 麻子 (シロウス マコ) | EPA看護師の国家試験合格率向上を目的とした日・尼連携による教育プログラムの研究 | 3,100,000円 |
| 18 | 東京都 | 和光大学現代人間学部 専任講師 末木 新 (スエキ ハジメ) | 自殺予防のためのインターネット・ゲートキーパー活動の実践 | 3,100,000円 |
| 19 | 大阪府 | 大阪体育大学健康福祉学部 講師 田部 絢子 (タベ アヤコ) | 発達障害を有する子どもの食事・食行動に関する実証的研究ー学校給食における困難・ニーズと支援課題ー | 1,500,000円 |
| 20 | 京都府 | 社会福祉法人京都国際社会福祉協力会 京都国際社会福祉センター 理事長 所 久雄 (トコロ ヒサオ) | 発達障害の早期発見と支援に関するツールの開発ー新版K式発達検査の新設項目の検討からー | 1,500,000円 |
| 21 | 京都府 | 同志社大学文化情報学部 助教 西倉 実季 (ニシクラ ミキ) | ADAにおける「容貌の障害」を理由とする差別ー日本への示唆を中心に | 800,000円 |
| 22 | 千葉県 | 特定非営利活動法人 エコ平板・防塵マスク支援協会 理事長 橋田 隆明 (ハシダ タカアキ) | 知的障がい者作業所における新製品の開発 | 3,600,000円 |
| 23 | 東京都 | 一般社団法人 アーツアライブ 代表理事 林 容子 (ハヤシ ヨウコ) | 創発型絵画鑑賞プログラムの普及による創造性およびコミュニケーション活性化 | 1,500,000円 |
| 24 | 愛知県 | 特定非営利活動法人 子育て支援を考える会TOKOTOKO 理事長 坂 鏡子 (ハン キョウコ) | 児童虐待の予防を視野に入れた妊娠中・出産直後からの集中的な家庭訪問プログラムの開発 | 1,500,000円 |
| 25 | 群馬県 | 医療法人ライフサポートわたらせ リバーサイドクリニック 理事長 平林 久幸 (ヒラハヤシ ヒサユキ) | 患者・主治医コミュニケーションの向上を目指した在宅リハビリテーションツールの開発 | 1,600,000円 |
| 26 | 東京都 | 東京大学大学院情報理工学研究所 教授 廣瀬 通孝 (ヒロセ ミチタカ) | 高齢者・身体障害者のための包括的バリアフリー情報共有基盤の開発・実地評価 | 2,000,000円 |
| 27 | 香川県 | 香川大学工学部 助教 藤井 容子 (フジイ ヨウコ) | 高齢者や障がい者が共に暮らす「共生型グループホーム」の実践的研究 | 1,600,000円 |

| 番号 | 所在地 | 名 称 | 使 途 | 金 額 |
|-----|------|---|---|-------------|
| 28 | 福井県 | 福井県立大学看護福祉学部 講師 舟木 紳介 (フネ シンスケ) | 障害者地域生活支援分野におけるデジタルメディアを活用したソーシャルワークのプログラム開発 | 1,200,000円 |
| 29 | 神奈川県 | 横浜市立大学大学院医学研究科 准教授 古屋 充子 (フルヤ ミツコ) | 本邦における家族性難治疾患に対する、中核病院・地域に根差した支援ネットの構築 | 2,700,000円 |
| 30 | 静岡県 | NPO法人ホスピタル・プレイ協会 すべての子どもの遊びと支援を考える会 理事長 松平 千佳 (マツダ 千佳) | 遊びをツールに病児を支援するホスピタル・プレイ・スペシャリストによる遊育支援事業の促進と子育て支援 | 2,100,000円 |
| 31 | 群馬県 | 群馬県立小児医療センター 心臓血管外科 部長 宮本 隆司 (ミヤモト タカシ) | 先天性心疾患患者の運動許容条件について－医療と教育現場の連携による新支援システムの構築－ | 1,000,000円 |
| 32 | 福岡県 | 九州大学大学院芸術工学研究院 准教授 村木 里志 (ムラキ リシ) | 介護予防を目的とした超音波画像テクスチャによる筋年齢評価手法の開発 | 1,300,000円 |
| 33 | 石川県 | 石川県立小松工業高等学校電気科 教諭 吉岡 学 (ヨシオカ マナブ) | 視覚障害児用白杖の開発および実証的検討 | 1,500,000円 |
| 34 | 神奈川県 | 北里大学看護学部 准教授 吉野 八重 (ヨシノ ヤエ) | 開発途上国の母子保健分野人材育成プログラムの開発と汎用化のための検討 | 3,500,000円 |
| 35 | 千葉県 | 千葉大学 社会精神保健教育研究センター 特任教授 渡邊 博幸 (ワタナベ ヒロユキ) | 精神科入院者の退院促進・地域定着のための多職種チームモデル“SACHICO”の開発と有用性検証 | 3,600,000円 |
| 合 計 | | | | 70,000,000円 |

第46回（平成27年度）三菱財団社会福祉 事業・研究助成先一覧

| 番号 | 所在地 | 名 称 | 使 途 | 金 額 |
|----|-----|--|--|------------|
| 1 | 千葉県 | 城西国際大学福祉総合学部 教授 石田 路子（いしだ みちこ） | 住民の主体的参加による地域包括ケアシステムモデルの創出 | 2,700,000円 |
| 2 | 東京都 | 公益財団法人ダイヤ高齢社会研究財団 研究部 部長 石橋 智昭（いしばし ともあき） | 高齢者が支え手側となる「生きがい就業」の有用性検証 | 1,600,000円 |
| 3 | 大阪府 | NPO法人オルト・クラブ 代表理事 上田 早記子（うえだ さきこ） | 障害者福祉報酬体系の改正がグループホーム経営に与える影響に関する研究 －経営安定システム構築に向けて－ | 1,100,000円 |
| 4 | 北海道 | 特定非営利活動法人 コミュニティシンクタンクあうるず 代表理事 工藤 大輔（くどう だいすけ） | 後継者育成と障がい者就労の場を提供する「エゾシカ皮革」製品の開発 | 2,050,000円 |
| 5 | 東京都 | 慶應義塾大学医学研究科 研究員 江口 洋子（えぐち ようこ） | 高齢者の善悪判断に関する研究 －騙されやすさの要因の解明－ | 1,600,000円 |
| 6 | 北海道 | NPO法人キャンサーサポート北海道 理事長 大島 寿美子（おおしま すみこ） | 当事者性の尊重と場の力を重視したがんのピアサポート・がんサロン教育研修プログラムの開発 | 2,500,000円 |
| 7 | 静岡県 | 浜松医科大学医学部 助教 岡田 栄作（おかだ えいさく） | ファシリテーションと地域診断を活用した介護予防政策支援プログラムの開発 | 800,000円 |
| 8 | 東京都 | 東京大学医学部附属病院 教授 笠井 清登（かさい きよと） | 精神的健康・身体的健康の統合による新たなリカバリーアセスメントツールの開発 | 2,000,000円 |
| 9 | 東京都 | 特定非営利活動法人 セルフ・サポート研究所 代表理事 加藤 力（かとう ちから） | 薬物依存症者への対応法を学ぶための視聴覚（映像）教材の製作 | 2,300,000円 |
| 10 | 愛知県 | 名古屋大学大学院医学系研究科 教授 加藤 昌志（かとう まさし） | アジアにおける飲用井戸水の有害元素汚染により誘発される中毒症・癌を予防するための学際研究 | 3,300,000円 |
| 11 | 東京都 | 聖路加国際大学看護学部 教授 萱間 真美（かやま まみ） | 放射線被害に取り組む福島県の行政機関等のスタッフに関する長期的サポートプログラムの作成 | 1,800,000円 |
| 12 | 福島県 | 認定特定非営利活動法人クラブネッツ 理事長 黒須 充（くろす みつる） | 「スポーツによる国際開発と平和構築」（SDP）理念の実践的事業を促進するための調査研究とワークショップ | 1,500,000円 |
| 13 | 大阪府 | 大阪大学大学院人間科学研究科 教授 斉藤 弥生（さいとう やよい） | 介護・医療供給における社会的企業の社会的価値創出機能とその測定手法に関する研究 | 3,000,000円 |

（代表研究者50音順、以下同じ。）

| 番号 | 所在地 | 名 称 | 使 途 | 金 額 |
|----|------|--|--|------------|
| 14 | 東京都 | 東京大学大学院教育学研究科 教授 佐々木 司 (ささき つかさ) | 学校教員を対象とした精神保健教育プログラム開発による子どもの不調への対処改善と教員の精神保健向上 | 3,200,000円 |
| 15 | 宮城県 | 東北大学災害科学国際研究所 助教 佐藤 翔輔 (さとう しょうすけ) | 非集合的に居住する被災者の「見守り」の実態とその効果 | 1,600,000円 |
| 16 | 静岡県 | 静岡大学人文社会科学部 准教授 白井 千晶 (しらい ちあき) | 日本における妊娠葛藤・養育困難相談および養子縁組支援の現状と制度設計に関する研究 | 2,300,000円 |
| 17 | 東京都 | 東京大学医学部附属病院 特任准教授 鈴木 淳一 (すずき じゅんいち) | ヒト型ロボットによる認知機能の改善効果を検討する臨床研究 | 1,000,000円 |
| 18 | 埼玉県 | 早稲田大学人間科学学術院 准教授 多賀 努 (たが つとむ) | 我が国の対人文化に根ざした「自己決定」のあり方に関する調査研究 | 1,600,000円 |
| 19 | 東京都 | 東京学芸大学教育学部 教授 高橋 智 (たかはし さとる) | 少年非行・矯正教育機関における発達障害問題の実態と発達支援に関する調査研究 | 2,800,000円 |
| 20 | 大阪府 | 有限責任事業組合 大阪職業教育協働機構 高見 一夫 (たかみ かずお) | 生活困窮リスクの高い高校中退者等の実態調査及び再チャレンジ支援モデル事業 | 2,100,000円 |
| 21 | 東京都 | 特定非営利活動法人芸術家と子どもたち 理事長 堤 康彦 (つつみ やすひこ) | 児童養護施設における被虐待児や障害児へのアートを通じた自立支援活動の開発と普及 | 1,800,000円 |
| 22 | 神奈川県 | 横浜国際福祉専門学校企画事業部 顧問 豊田 宗裕 (とよだ むねひろ) | 外国籍介護労働者に有効な介護記録モデルに関する研究 | 2,500,000円 |
| 23 | 京都府 | 同志社大学社会学部 准教授 永田 祐 (ながた ゆう) | 支援困難事例に対応する研修プログラムと組織間連携による支援方法の開発 | 2,350,000円 |
| 24 | 岡山県 | ノートルダム清心女子大学 人間生活学部 准教授 西 隆太郎 (にし りゅうたろう) | 長期入院児家族のための絵本の読みあいによる支援プログラム | 800,000円 |
| 25 | 千葉県 | 千葉大学教育学部 教授 羽間 京子 (はざま きょうこ) | 非行少年の被虐待体験と自立支援に関する調査研究 | 2,000,000円 |
| 26 | 東京都 | 早稲田大学高等研究所 助教 橋本 健二 (はしもと けんじ) | ロボットによる笑い誘発を通じた精神疾患の予防 | 1,600,000円 |
| 27 | 大阪府 | 社会福祉法人日本ライトハウス 理事長 橋本 照夫 (はしもと てるお) | 視覚障害者が自立的に利用できる音声説明付き3次元地形模型の開発 | 3,200,000円 |

| 番号 | 所在地 | 名 称 | 使 途 | 金 額 |
|-----|------|--|---|-------------|
| 28 | 神奈川県 | 伴 英美子 (ばん えみこ) | 介護福祉事業者におけるメンタルヘルス施策に関する調査研究と事例集およびケース教材の開発 | 1,300,000円 |
| 29 | 北海道 | 日本ALS協会北海道支部 北海道支部長 深瀬 和文 (ふかせ かずふみ) | 地方のALS等難病患者支援 …北見、函館市での喀痰吸引等研修と帯広地域の療養環境改善に向けた取り組み | 800,000円 |
| 30 | 東京都 | 白梅学園大学子ども学部 教授 福丸 由佳 (ふくまる ゆか) | 親の離婚を経験する子どもの支援プログラムの開発ー子ども向けFAITプログラムの導入と課題ー | 1,300,000円 |
| 31 | 兵庫県 | 公益財団法人ひょうご震災記念21世紀研究機構 兵庫県こころのケアセンター研究部 主任研究員 高田 紗英子 (たかだ さえこ) | 日本における児童青年に対するPTSDアセスメントツールの啓発に関する研究 | 700,000円 |
| 32 | 東京都 | 国立成育医療研究センター 社会医学研究部 部長 藤原 武男 (ふじわら たけお) | 父親の育児参加を促す介入による子どもの事故予防効果検証 | 3,000,000円 |
| 33 | 鳥取県 | 鳥取看護大学看護学部 准教授 細田 武伸 (ほそだ たけのぶ) | 救急隊員の介護技術教育プログラムの開発に関する研究 | 900,000円 |
| 34 | 茨城県 | 筑波大学医学医療系 准教授 水野 智美 (みずの ともみ) | 点字ブロックの適正な設置のためのガイドラインの作成に関する研究 | 2,500,000円 |
| 35 | 東京都 | 東京大学高齢社会総合研究機構 特任講師 村山 洋史 (むらやま ひろし) | 住民組織主導型の介護予防プログラムの開発と効果検証 | 1,600,000円 |
| 36 | 京都府 | 同志社大学社会学部 助教 森口 弘美 (もりぐち ひろみ) | 障害のある人から学ぶまちづくり協働研究ー障害のあるリサーチャーおよび学生サポーターの育成ー | 1,000,000円 |
| 37 | 東京都 | 東洋大学社会学部 教授 森田 明美 (もりた あけみ) | 東日本大震災において支援を受けてきた中高生の参加型子ども支援マニュアルの開発 | 2,200,000円 |
| 38 | 東京都 | 特定非営利活動法人東京ダルク 代表理事 森野 嘉郎 (もりの よしお) | リハビリング (回復途上) スタッフによる、危険ドラッグ乱用に対する回復支援法の開発 | 3,600,000円 |
| 合 計 | | | | 74,000,000円 |

第47回（平成28年度）三菱財団社会福祉 事業・研究助成先一覧

| 番号 | 所在地 | 名 称 | 使 途 | 金 額 |
|----|------|---|--|------------|
| 1 | 東京都 | 特定非営利活動法人楽の会リーラ 理事長 安齋 陽一（あんざい よういち） | 生活困窮者自立支援法における「ひきこもり・発達障害者」支援充実の調査事業 並びに家族会立上げ事業 | 1,950,000円 |
| 2 | 静岡県 | 特定非営利活動法人 静岡司法福祉ネット明日の空 代表理事 飯田 智子（いいだ ともこ） | 生活困窮等を原因として犯罪を惹起した者の社会再定着過程における現状調査と社会復帰支援活動モデルの実践 | 2,900,000円 |
| 3 | 京都府 | 公益財団法人 京都市国際交流協会事業課 行政通訳相談事業コーディネーター 飯田 奈美子（いいだ なみこ） | 在住外国人の母子保健支援と市民的専門性の形成ー新たな通訳技術の構築ー | 1,500,000円 |
| 4 | 宮城県 | 特定非営利活動法人子どもの村東北 理事長 飯沼 一字（いいぬま かずいえ） | フォスターケア（里親養育）の日本モデル構築のための一試行と考察 | 1,200,000円 |
| 5 | 東京都 | 東京大学大学院医学系研究科 講師 五十嵐 歩（いがらし あゆみ） | 地域高齢者の健康情報データベースの構築：新たな要介護認定方式の妥当性の検討 | 1,400,000円 |
| 6 | 神奈川県 | 相模女子大学学芸学部 専任講師 池下 花恵（いけした はなえ） | 識字学習におけるインタラクティブ教材の開発 | 930,000円 |
| 7 | 大阪府 | 特定非営利活動法人 大阪精神医療人権センター 代表理事 位田 浩（いだ ひろし） | 精神科病院入院患者への意思決定支援を担う「権利擁護者」の育成プログラムの開発 | 2,250,000円 |
| 8 | 東京都 | 東京学芸大学 人文社会科学系 准教授 伊藤 由希子（いとう ゆきこ） | 高齢者における主体的就業能力向上ー米国職業データベース O*NET 日本版の活用を通してー | 1,800,000円 |
| 9 | 東京都 | 東京大学大学院情報理工学系研究科 准教授 入江 英嗣（いりえ ひでつぐ） | 視覚障害者の支援へのドローンの活用可能性に関する調査研究 | 2,900,000円 |
| 10 | 東京都 | 東京都立東部療育センター小児科 副院長 岩崎 裕治（いわさき ゆうじ） | 重症心身障害者のグループホームに関する研究ーグループホームへのニーズ調査および先駆的施設の調査ー | 1,200,000円 |
| 11 | 大阪府 | 特定非営利活動法人 暮らしづくりネットワーク北芝 代表理事 埋橋 伸夫（うずはし のぶお） | 住まいを伴う生活支援・就労支援を通してコレクティブタウンの普遍化要素を構築する調査研究事業 | 2,900,000円 |
| 12 | 神奈川県 | よこはま発達クリニック児童精神科 代表 内山 登紀夫（うちやま ときお） | 福島第一原発事故による避難地区の乳幼児のメンタル状態・行動特性把握と支援方法の検討 | 3,300,000円 |
| 13 | 石川県 | 北陸先端科学技術大学院大学 情報科学研究科 准教授 鵜木 祐史（うのき まさし） | 非言語情報の伝送が可能な人工内耳用音声信号処理法の開発 | 2,600,000円 |

（代表研究者50音順、以下同じ。）

| 番号 | 所在地 | 名 称 | 使 途 | 金 額 |
|----|-----|---|--|------------|
| 14 | 宮城県 | 一般社団法人 キッズ・メディア・ステーション 代表理事 太田 倫子 (おおた みちこ) | 石巻日日こども新聞のこども記者による「石巻日日こども商店」 | 4,000,000円 |
| 15 | 兵庫県 | 神戸学院大学 総合リハビリテーション学部 実習助手 岡田 強志 (おかだ つよし) | 【児童福祉施設版】司法面接研修プログラムの開発 | 1,100,000円 |
| 16 | 愛知県 | 名古屋大学医学部附属病院 助教 城所 博之 (きどころ ひろゆき) | 早産児がNICU退院後に受ける乳児期発達支援プログラムの構築と実践 | 1,400,000円 |
| 17 | 岩手県 | 岩手県立大学総合政策学部 教授 倉原 宗孝 (くらはら むねたか) | 施設内看取りや在宅看取り推進に向けた高齢者意思聴取り調査方法及びその表現・共有方法に関する基礎的研究 | 1,800,000円 |
| 18 | 東京都 | 東京大学大学院総合文化研究科 准教授 小池 進介 (こいけ しんすけ) | 精神疾患のスティグマ軽減を目的とした当事者インタビュー動画の作成と多角的評価 | 2,250,000円 |
| 19 | 東京都 | 聖路加国際大学看護学部 教授 小林 京子 (こばやし きょうこ) | 小児脳腫瘍患者・経験者の認知機能への包括支援の構築 | 2,400,000円 |
| 20 | 愛知県 | 名古屋大学学生相談総合センター 特任講師 佐藤 剛介 (さとう こうすけ) | 自閉症スペクトラム障害の社会適応に関する社会生態学的国際比較研究 | 1,500,000円 |
| 21 | 大阪府 | 大阪府立母子保健総合医療センター 母子保健情報センター センター長 佐藤 拓代 (さとう たくよ) | 思いがけない妊娠の相談・支援に関する研究 | 1,700,000円 |
| 22 | 東京都 | 社会福祉法人ふれあい福祉協会 理事長 佐藤 哲朗 (さとう てつお) | ハンセン病療養所退所者実態調査 | 2,600,000円 |
| 23 | 栃木県 | 国際医療福祉リハビリテーションセンター センター長 下泉 秀夫 (しもいずみ ひでお) | 発達障害児、情緒障害児を早期に発見し地域で支援するためのシステムの開発 | 2,500,000円 |
| 24 | 福岡県 | 特定非営利活動法人サイエンス・アク セシビリティ・ネット 代表理事 鈴木 昌和 (すずき まさかず) | 読み書きが困難な児童生徒達のための文章・数式入力可能なマルチメディアDAISYプレイヤーの開発 | 3,000,000円 |
| 25 | 東京都 | 一般社団法人 日本国際手話通訳・ガイド協会 代表理事 砂田 武志 (すなだ たけし) | 「日本手話ー日本語」通訳(翻訳)技術の習得に関する研究ー手話の科学的分析及び翻訳の等価性についてー | 1,500,000円 |
| 26 | 京都府 | 公益社団法人認知症の人と家族の会 代表理事 高見 国生 (たかみ くにお) | 安心社会をめざす認知症当事者団体ネットワーク構築事業 | 2,000,000円 |
| 27 | 宮城県 | 田上 佑輔 (たのうえ ゆうすけ) | 地方の少子高齢化・医療資源不足の解消に向けた新たなモデルの提案に向けたプロジェクト | 2,900,000円 |

| 番号 | 所在地 | 名 称 | 使 途 | 金 額 |
|-----|-----|--|---|---------------------|
| 28 | 愛知県 | 特定非営利活動法人アスペルデの会 理事長 辻井 正次 (つじい まさつぐ) | 保育士による発達障害およびその傾向のある幼児の早期支援モデルの確立 | 1,450,000円 |
| 29 | 東京都 | 公益社団法人 日本てんかん協会 会長 鶴井 啓司 (つるい けいじ) | 「てんかん」のある人の救急搬送に関する実情把握と安心システム構築に向けた研究事業 | 2,100,000円 |
| 30 | 大阪府 | 大阪大学 キャンパスライフ支援センター 講師 中野 聡子 (なかの さとこ) | 聴覚障害当事者を対象とした高度専門領域における支援者養成マネジメントプログラムの開発 | 2,900,000円 |
| 31 | 千葉県 | 特定非営利活動法人 エコ平板・防塵マスク支援協会 理事長 橋田 隆明 (はしだ たかあき) | 機械工具を使ったエコモザイク製作のステップアップ | 2,550,000円 |
| 32 | 茨城県 | 一般財団法人ワンアース 代表理事 長谷川 洋一 (はせがわ よういち) | 千年後の子孫たちへ、東日本大震災の記憶を語り継ぐための宇宙桜伝説の創作 | 1,500,000円 |
| 33 | 東京都 | 特定非営利活動法人 多文化共生センター東京 代表理事 栢木 典子 (はげき のりこ) | 外国にルーツをもつ子どもたちのための多言語学習用語集(数学編) | 1,670,000円 |
| 34 | 滋賀県 | 滋賀医科大学医学部 教授 一杉 正仁 (ひとすぎ まさひと) | 脳卒中患者の交通社会復帰に向けた包括的支援策の確立と標準化 | 1,500,000円 |
| 35 | 東京都 | 特定非営利活動法人DPI日本会議 議長 平野 みどり (ひらの みどり) | 障害者総合支援法モデルチェンジデザイン提言事業 | 2,150,000円 |
| 36 | 東京都 | 特定非営利活動法人テストと学習環境のユニバーサルデザイン研究機構 理事長 藤芳 衛 (ふじよし まもる) | 重度視覚障害者も自立的な点字教材の作図を可能にする作図システムの改良と作図法の学習支援 | 3,000,000円 |
| 37 | 岩手県 | 岩手医科大学医学部 講師 八木 淳子 (やぎ じゅんこ) | 東日本大震災後に誕生した子どもとその家族への縦断的支援研究 | 3,100,000円 |
| 38 | 埼玉県 | 城西大学経営学部 准教授 山口 理恵子 (やまぐち りえこ) | スポーツ界の体罰・セクシュアルハラスメントに関する処罰規定の比較研究 | 1,100,000円 |
| 39 | 宮崎県 | 宮崎大学テニヤトラック推進機構 講師 吉永 尚紀 (よしなが なおき) | 職場における対人ストレス軽減に向けて：看護師に対するアサーティブ・トレーニングの短縮版プログラム開発および効果検証 | 1,500,000円 |
| 合 計 | | | | 39 件 82,000,000円 |